

大阪支部 第3期保健事業実施計画 （データヘルス計画）について



広報部鳥 けんぼん
©2018 協会けんぽ大阪支部

第3期 保健事業実施計画(データヘルス計画) の概要

6年後に達成する目標(健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標)

1. 加入者(40歳以上)の生活習慣要改善者の割合(喫煙習慣、食事習慣、飲酒習慣、睡眠)を令和4年度実績の全国平均以下にする。
2. LDLコレステロール値のリスク保有割合を令和4年度実績の全国平均以下にする。

健康課題① 健康への関心は高いが、特定健診・特定保健指導の実施率が低い

<令和4年度実績>		大阪支部	全国
生活習慣病予防健診		44.0%(46位)	56.4%
事業者健診データ		7.7%(34位)	8.8%
特定健診		26.0%(35位)	27.7%
特定保健指導 (被保険者)	初回面談	16.9%(41位)	23.4%
	実績評価	12.9%(43位)	18.2%

健康課題② 喫煙・食事・飲酒・睡眠の生活習慣リスク保有者の割合が高い

<令和4年度実績>		大阪支部	全国
喫煙習慣がある者	男性	37.6%(7位)	40.0%
	女性	16.9%(41位)	15.1%
食事習慣要改善者	男性	58.9%(39位)	57.2%
	女性	50.4%(39位)	48.6%
飲酒習慣要改善者	男性	19.0%(37位)	17.8%
	女性	7.0%(45位)	5.1%
睡眠で休養が 取れていない者	男性	39.9%(45位)	36.4%
	女性	44.5%(43位)	41.8%

保健事業の三本柱

① 特定健診・特定保健指導の推進

- 被保険者の方を対象に生活習慣病予防健診、被扶養者の方を対象に特定健診を実施
- 地域、年齢特性を考慮した集団健診の実施
- 健診結果から健康の保持に努める必要がある方に特定保健指導を実施

【特定健診】

- ① 生活習慣要改善者の割合が高い道路貨物運送業の事業所に対する業界団体と連携した健診実施率(実績52.2%→目標62.8%)
- ② 生活習慣要改善者の割合が高い中小規模事業所における健診実施率改善(実績58.1%→目標:66.7%)

【特定保健指導】

- ① 生活習慣要改善者の割合が高い道路貨物運送業の事業所に対する業界団体と連携した特定保健指導(初回面談/実績9.9%→目標15.0%)
- ② 特定保健指導対象者が多く実施率が低い大規模事業所における特定保健指導実施率改善(初回面談/実績16.0%→目標:21.4%)

② 重症化予防の対策

- 健診結果とレセプトから疾病リスクの高い者を抽出し受診勧奨を行う
 - 特に糖尿病、高血圧症、脂質異常症の疾病の悪化を防ぐ
 - 虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病性腎症などの合併症の発生を抑制する
- 二次勧奨対象者以外のLDLコレステロール値 ≥ 180 mgdlであり、血圧高値(収縮期血圧 ≥ 180 mmHg、拡張期血圧 ≥ 110 mmHg)、喫煙習慣がある未治療者に対する受診勧奨

③ コラボヘルスの推進

- 事業所特有の健康課題等を事業主と協会で共有できるよう、事業所健康度診断シートを提供
 - 事業主に職場の健康づくりに取り組むことを宣言していただく健康宣言事業を推進し、事業所の健康づくりの取組を支援
- 大阪支部の保健師・管理栄養士と事務職員が連携した事業所ごとに専属担当として支援を行う「まいど！健康サポーター」による職場環境の改善

【参考:対策を進めるべき重大な疾患(10年以上経過後のゴール)】

- 循環器系疾患(心疾患・脳血管疾患等)の加入者1人当たり入院医療費を令和4年度実績の全国平均以下にする。